



奨学会館



校舎



第70号

編集・発行  
新潟県村上飯野三丁目  
16番4号 奨学会館内  
新潟県立  
村上高等学校同窓会  
TEL(0254) 53-2779  
FAX(0254) 53-2779  
メールアドレス  
murakami-dousokai@mail.wafune.ne.jp  
印刷  
村上印刷株式会社

ご挨拶



新潟県立村上高等学校  
同窓会長 瀬賀 弘行  
(27回生)

新型コロナウイルスの流行のために、2020年は世界中の人々が同じ運命のもとに置かれました。同窓の皆様にも、大変な夏を過ごしておいでのことと御見舞い申し上げます。

2020年6月21日の時点で、世界の累計感染者数は867万人(世界人口の約0.1%)、死者は46万人です(死亡率5%)。

1915年から1921年までのスペイン風邪の流行では、当時の人口約20億人のうち、5億人(25%)が感染し、約5千万人が亡くなりました(死亡率10%)。

2009年から2012年までの新型インフルエンザでは、当時の人口約70億人のうち、6億人(9%)が感染し、30万人が死亡しました(死亡率0.05%)。

新型コロナウイルスが、どれほど広がるのかは予測できません。ワクチンや治療薬ができるまでは、科学者の推奨する「新しい生活様式」なるものを受け入れざるを得ないでしょう。「なるべく自宅を出ないで下さい」、「人とは2m離れて下さい」、「マスクをして下さい」。ああ、何ということ。「テレワーク」、「オン

ライン会議」、「オンライン授業」くらいまでなら許しましょう。しかし、「オンライン帰省」、「オンライン飲み会」となると、もう漫画です。皆様も初めてお聞きになった時には我が耳を疑ったのではありませんか。それでもやはり、これらの「様式」に従わないと悲劇が待っていることは、今や誰でも知っています。

700万年前、私たち人類の祖先は裸のまま猿たちと別れました。7万年前、最後の氷期に入ると初めて衣類を身にまといました。そして今ついに、「いつでもマスクをつけるようになりました！」などとならないように祈るばかりです。

当同窓会役員会は、2020年10月の同窓会総会の中止を決めました。村上高等学校創立120周年の記念事業も縮小されます。来年は、「自分のお酒は自分でついで下さい」などというアナウンスのない懇親会が開催できることを切に願っております。

堅忍不拔

〜今こそ困難に立ち向かう時〜



新潟県立村上高等学校  
学校長 山川 徹也

村上高等学校同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に對しまして多大な御支援、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、本年四月一日付で赴任しました校長の山川徹也です。例年であれば、すでに校内やグラウンドに生徒の元気な声が響く

毎日が続いていたことと思いますが、今年は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、新潟県内の県立学校においては、四月十五日(水)から五月十八日(月)まで臨時休校が続きました。

五月二十二日(金)からは全校生徒の半数ずつ登校する「分散登校」を実施し、六月一日(月)からは全校生徒が登校し始めました。六月六日(月)からは、ようやく放課後の部活動も再開しました。感染拡大防止対策のため、様々な制限が設けられていますが、今後、生徒の健康状態を見ながら、段階的に制限を解除していきます。これまでに、各種の全国大会も中止され、大会出場、入賞を目標に努力してきた生徒にとつては、本当に悔しい夏となりましたが、硬式野球や陸上競技などの県大会の開催が決まりました。生徒たちには、新たな目標に向かって、努力を重ね、成長してほしいと願っています。

学校教育において、最も大切なものは、生徒の生命、健康であります。生徒の健康を守るために、学校としてできることは最大限実行していかねばならないと考えています。

現在の状況は、私たち教職員にとつても経験のないことですが、私たちが、生徒一人一人の進路希望実現のために今、何ができるのか、何をしなければならぬか、一生懸命考え、実行してまいります。

「堅忍不拔」。生徒たちにとつて、今こそこの村上高校の校訓を胸に、困難に立ち向かう時だと思っています。生徒たちには、この校訓の意味を噛みしめ、目の前の課題に取り組むことを期待しています。同窓会の皆様におかれましては、今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

# 令和元年度 村上高等学校 同窓会 総会・懇親会風景

令和元年10月26日(土) 大観荘にて



## 最後まで笑顔溢れる同窓会



竹内 和広  
(31回生)

記念すべき令和の時代を迎えた昨年、私たち31回生が当番幹事で、「大観荘・せなみの湯」さんを会場に同窓会が開催されました。

二回の準備会を経て、最終的に執行部を含め、総勢34名の実行委員会体制のもと当日の具体的な段取り等の協議を始めた。

まずは、いかに多くの同期生に参加してもらうか。そして、やっぱりアトラクションです。加えて、今回からエールについても当番幹事で行うこととなりましたが、ここは五十嵐誠実行委員長(現同窓会常任理事)の熱きリーダーシップにより、すんなりとは言えませんが本番に向けて着々と準備を進め、今年から幹事となった同窓会焼肉懇親会でパワーをつけながら、いよいよ本番です。

SNSをフル活用することにより、同期生の参加者目標数も達成し、受付・〇×クイズ(アトラクション)・福引・エールと、何とか盛会のうちに会を終えることができました。会場から退場する時には、31回生でアーチを作ったの見送りをを行い、最後まで喜んでいただけた笑顔溢れる同窓会だったと思います。

二次会にも多くの同期生が集まり、総会懇親会に負けず劣らずの盛り上がりとなりました。スタッフのみなさん大変お疲れさまでした

# 120周年記念式典・祝賀会 中止

〈令和2年度 同窓会総会 懇親会も中止〉

「新型コロナウイルス」感染症の収束の見通しが立たない状況である事から、10月24(日)に予定しておりました120周年記念式典・祝賀会を中止させて頂くことといたしました。

記念事業として、**電子黒板2台及び120周年記念誌、記念品**を在校生徒に贈呈いたします。

〈120周年記念誌より〉

## 校 章



「校章」は昭和23年4月に公募された。応募作品が教務室前の廊下に展示され美術の秋山忠勝教諭が中心の選考委員会により竹内功（全2）の作品が入選となった。デザインの意図については、竹内は次のように述べている。

片仮名のラを6ヶ配してムラ、同じくカを3つ配してカミと読み、中央に高の字を置いて村上高等学校を示す。形は全体に六角形で、村上の雪を象り。3ヶのカは同時に三葉の松葉を表わし、若者のまっすぐに伸び行く姿を象徴する。

「同窓の訪れ」28号（昭和53年7月25日刊）で、竹内は「旧制第一高等学校の柏葉章が念頭にあったのであろう」と回顧し、続けて「自主、自治ということに手探りでスタートした。公募することになったのもこのような情勢下であったからであろう」と背景にふれている。

## 校 旗



「校旗」は、「校章」決定3年を経て昭和27年1月18日に「小林百貨店」に発注している。その年の2月20日、小林百貨店商事部田村謙二氏が「校旗」「代用旗」を持参して納入。経費の半額に当たる2万500円を同窓会から支払ってもらうことに決定している。

「校旗樹立」は、昭和27年3月1日「第4回卒業証書授与式」の式場において挙行された。

創立110周年を記念して同窓会より平成22年10月に新しい校旗を贈呈した。

# 校歌

## 校歌

法政大学校歌  
朝美恵子作曲

豊学昇る朝日子の

光はいよ、輝きて

真理を求めたゆみなき

我が使命果しなむ

善き我が活動の

舞台は今や開かれ

安逸の夢をむせはらて

栄華に酔はむ時なき

平原百里こゝにつま

連峰巍然天を摩し

北渺茫の海遠く

シベリア嶺の吹くところ

三面川はとこ〜(一)に

清き流の音も

海府の浦は千仞の

崖に千歳の松青し

あ、浮洲のこの天地

浮華柔弱の濁りなく

あ、雄壮のこの山河

堅忍不拔の

せ、と〜あり

此中子孫は此の山河に  
信じて歩む

## ★我等が歌(校歌)

(一)

戦雲今やをさまりて  
日出づる國の山の端に  
昇る朝日は新しき  
我が運命を齎せり。

(二)

われら健兒が活動の  
舞臺は廣し五大州。  
安逸の夢むせはらて  
榮華に酔はむ時をらじ。

(三)

平原百里こゝを歩き  
連峰巍然天を摩し。  
北渺茫の海遠く  
西比利亞風吹くところ。

(四)

三面川はとこ〜へに  
清き流れの音高く。  
海府の浦は千仞の  
崖に千歳の松青し。

(五)

あ、清麗のこの天地  
浮華柔弱の濁りなく。  
あ、雄壯のこの山河  
堅忍不拔のさとしあり。



「校歌」は明治四十一年一月に制定されている。「我等が歌」

と題されたその歌詞は、片仮名、平仮名で交互に表記されている。一番の歌詞から、あるいは題名からも「校歌」としての意図は、当初なかったのかも知れない。

一番は「センウンイマヤオサマリテ」と日露戦争の終結を折り込んでいます。他は現在の歌詞に類似しているが、当然「歴史的仮名遣い」によっている。

昭和になって「安逸の夢」の次に「を」が入り、「時ならじ」が「時ならず」と改められている。昭和三十五年四月十四日に常に論議されていた「シベリヤ嵐」か「シベリヤ嵐」を「嵐」に決定しているのは、「我等が歌」に従った妥当な指導であったといえる。

かつて、時代や時局を反映するのが「校歌」の特質でもあったので大正期、昭和期には、「一番」がそれぞれ次のように変えられている。

### 大正期 昭和期 (戦前)

一、トヨサカノボルアサヒコノ

ヒカリハイヨカガヤキテ

イマタイシヨウノオホミヨニ

コクウントミニボツコウス

一、豊学昇る朝日子の

光はいよいよ輝きて

昭和の御代の国民は

東亜盟主の任重し

その後、歌詞の改訂が国語科の教諭によって行われ「一番」の「昭和の御代の国民は 東亜盟主の任重し」は「真理を求めたゆみなき 我らが使命果たしなむ」となり、「光はいよいよ」は「光はいよいよ」と変えられていった。

# 校歌をめぐるあれやこれや



平田 昭

(27回生)

同期会で、校歌の歌詞が話題になったことがありました。三番「シベリア嵐の吹くところ」は「シベリア嵐」じゃないのかと。最初に結論を申しますが、現行通り「シベリア嵐」が正しい。根拠として『百年史』の「昭和三十五年四月十四日に常に論議されていた『シベリヤ(ママ)嵐』か『シベリヤ(ママ)嵐』を『嵐』に決定している」という記述と、『九十周年記念誌』に掲載されている写真があることを記しておきます。

ただ、いまなおシベリア嵐に未練を感じる同窓生もけっこういらつしやるといふ事実に興味をもちました。友人に促されるままに少し調べたことを地元紙「サンデーいわふね」に連載してもらったのは望外の幸せ。(村上高校校歌異聞) 2019年10月27日(2020年4月19日) 作詞者藤原紫朗先生の紹介から堅忍不拔の典拠まで、暇つぶしの調べ作業がおもしろく、実に21回に及びました。あらためて創立以来120年を経た伝統の重みを感じる経験でした。

詳細については連載を見ていただくしかありませんが、限られた紙数の中で概要を書いてみます。

## 一、確認できたこと

○作詞者藤原紫朗先生は、開校間もない明治35年からの国漢教諭で、ユーモアも持ち合わせ、人気ある先生だったようです。歌は、最初は「校歌」ではなく、「我等が歌」と題されていました。『七十周年記念誌』には手

書きの歌詞と楽譜(数字譜)が、『九十周年記念誌』にはタイプ印字された歌詞と楽譜(同)の写真が掲載されています。

○一番の歌詞が数回にわたって改作されています。オリジナルは「戦雲いまやをさまりて/日出づる國の山の端に。/昇る朝日は新しき/我が運命を齎せり。」でした。戦雲が収まったという戦争は日露戦争。大正期になって「豊榮昇る朝日子の/光はいよいよ輝きて/今大正の大御代に/国運頓に勃興す」と改められ、さらに昭和になると、二句以降が「光はいよいよ輝きて/昭和の御代の国民は/東亜盟主の任重し」となり、戦後再度改訂を経て、現行の歌詞に落ち着きました。歴史の転換点を経た歌詞ですから、改変もやむをえなかったものと想像されます。

○一番のほかにも歌詞が変更されていますが、その時期や理由は明らかではありません。たとえば二番の冒頭、原作は「われら健兒が活動の/舞臺は廣し五大州。」で、最後は「時ならじ。」でした。五番の冒頭も「あゝ清麗のこの天地」でした。

○残された楽譜は五線譜ではなくアラビア数字と記号を用いた数字譜ですが、記述は正確で現行のメロディに一致します。

○村高の校訓「堅忍不拔」の典故は蘇軾「鼂錯(ちようそ)論」です。明治書院刊『新釈漢文大系第17巻「文章規範(正編)上」』で読むことができます。蘇軾は、古代中国夏の「禹(う)」が行った治水事業の困難さを述べます。十三年間もつばら外で仕事を続け、自宅の前を通り過ぎてても決して休息しようとしなかったというほどの辛抱強さ、不退転の決意を堅忍不拔と讃えたのでした。

## 二、風説が出た理由(仮説)

○嵐という言葉は「六甲嵐」「筑波嵐」など地名と結びついて固有名詞を形成します。「シベリア嵐」という村上の風土に根ざした固有名詞があってもおかしくないと思ってしまうのは人情でしょう。

○オリジナルは「西比利亞嵐吹くところ」でカナでは「シベリヤ・アラシ フクトコロ」です。現行「シベリア・アラシの吹くところ」a音の連続と「の」の挿入によって歌いにくくなったせいでは?実際に歌ってみると違いがわかります。

○森昌子の「哀しみ本線日本海」など、演歌の世界では「シベリア嵐」が頻出します。その影響ではないでしょうか。

## 三、まだわからないこと

○従来明治40年とされてきた校歌制定の年次が、『百年史』では明治40年説と41年説が混在しています。どちらかが誤植なのか史料に基づく新説なのか。

○昭和35年の「決定」前、「嵐か嵐か常に論議があった」事情について、当時をご存じの方からご教示いただければ幸甚。

○卒業アルバムに載せられた校歌が、昭和35年の「決定」以降も、38年、40年、41年、42年と「嵐」になっている(小川寿幸さん調べ)事情についてもお教えいただきたいと思います。

## プロフィール

1955年村上上市藤沢生まれ。現在も同地に居住。村高に4年在籍。吹奏楽部。大学卒業後、県立高校国語科教員。母校勤務時は野球部部长。下手なノックで生徒を泣かせた。退職後「サンデーいわふね」紙に時折投稿。

## 一隅を照らす



奨学会前理事長

益田 茂彦

(18回生)

想定外のことがありました。祭りが中止になり、総会が紙面決議になり、すべてのイベント、飲み会が消えました。

会社定年後、「わが町を昔のように、人が集まる観光村上の中心商店街にするのだ」との「夢」を持って、家内と二人、家業の酒屋をやってきました。しかし、新型コロナウイルスは非情にも、昨年900台も来るようになった観光バスをすべてキャンセルさせ、店に人っ子一人来ない日を何日もつづけたのです。団塊世代の私も、はや七十三歳。「八十歳までは、現役でやる、賑やかな商店街を復活することが私のライフワーク!」と豪語していたのですが、どうも危うくなってきたかなと沈んでおりました。

そんな時に見た「NHK歴史秘話ヒストリア」で紹介されていたのが、先般アマガニスタンで殺害された中村医師が、心の支えとしていたという最澄の言葉「一隅を照らす」でした。団塊世代より一年先輩の中村医師は、アマガニスタンで井戸を掘り、用水路を造り、現地の人たちの尊敬の人ですが、テレビで「自分のまわりの出来ることを、ひとつひとつやっていけば、やがて全世界を救うことが出来る」と話されていました。

中村医師の一隅と、私の一隅の大きさはかなり違いますが、私は感動し、またやる気が湧いてきた感じがしました。

私が奨学会の理事長を拝命したのは、村上高校の創立百周年の時でした。三年前に現在の長谷川代表理事と交代しましたが、その間、奨学金を授与した生徒は八十五人、皆勤賞を贈った生徒は約五百人になります。彼らは今どのような生活を送っているのでしょうか。新型コロナウィルスに負けず、夢に向かって歩んでいるのでしょうか。是非「一隅を照らす」人になってほしいと思います。

# 同窓会支部だより

## 新潟支部

名称を「新潟支部総会」から

「新潟同窓会」

飯沼 和男(19回生)

県立村上高等学校同窓会新潟支部総会  
期日 令和元年十一月二十九日(金)  
会場 アートホテル新潟駅前(駅隣接)  
来賓(敬称略) 関矢和彦校長

遠山栄子副会長 山本宏平関東支部長  
二十九名の出席でしたが、来賓の皆様方をお迎  
えし、御挨拶をいただき、お陰様で和やかで濃  
密、盛会になりました。

大先輩のお話を伺ったり、若い会員の話も楽  
しく聴かせていただきました。更に、三条市の  
十九回卒金子さんは支部がなく新潟支部会員  
と出席され楽しく歓談されたとのことでした。  
県内でも同窓会支部のない地域があり、「新潟  
支部総会」を「新潟同窓会」と名称のみ替えて



開催したいと提案し、  
了承されました。  
新型コロナウイルス  
が猛威を振るい、母  
校創立百二十周年記  
念事業も中止になり  
ましたが、「新潟同窓  
会」は例年十一月に  
開催のため、極力開  
催を模索します。結  
果は支部ホームページ  
ジ等で報告し、新校  
長をお迎えして開催  
の際はお誘合せの上、  
多数の皆様方の出席  
をお願いします。

## 仙台支部

田中 梯一(33回生)

令和元年12月8日に開催された仙台支部総  
会(兼懇親会)は、本部よりお出でいただ  
いた長谷川事務局長を含めた6名でのささや  
かな総会となりました。母校の近況や村上に  
まつわる話題で盛り上がり、各々ふるさと  
並みや同級生の顔を思い出しながら楽しい  
と時を過ごすことができました。

そして年が明けて令和2年となり、我が  
母校の創立120周年を迎えたわけですが、  
春先からの世界的な新型コロナウイルス感  
拡大の影響により、創立120周年記念事  
業の中止が決定されたことは大変残念で  
した。次回の記念式典の折にでも、是非倍返しをお  
願いたします。

仙台市内でも東北最大の夜の歓楽街、国分  
町でクラスターが発生したり、なかなか手  
に入らず残り少ないマスクの数を気にしな  
がら不安な日々を過ごしました。ゴールド  
ウィークは毎年村上に帰省していましたが、  
今年はずっとステイホーム、帰って来る  
など実家の親からも拒否されてしま  
いました。近いようで今は遠い故郷です  
が、いつでも帰れるような状態に早く戻  
ってほしいと願うばかりです。



## 役員名簿

会長	副会長	顧問	常任理事	校内幹事	監事	事務局長
遠山 栄子	小崎 博人	尾崎 徹也	山崎 常男	山田 悟志	齋藤 隆彦	渡辺 修一
(27回生)	(26回生)	(20回生)	(25回生)	(25回生)	(25回生)	(20回生)
瀬川 弘行	兼人	克博	徹也	正康	和彦	河辺 雄一
(25回生)	(26回生)	(20回生)	(25回生)	(18回生)	(25回生)	(26回生)
佐藤 幸子	木ノ瀬 勉	八藤 房	圓山 文	岡田 正	齋藤 隆彦	渡辺 修一
(26回生)	(26回生)	(26回生)	(25回生)	(26回生)	(25回生)	(20回生)
奥川 直子	石川 圭子	善圭	澄子	保史	和彦	河辺 雄一
(25回生)	(27回生)	(28回生)	(20回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
丹波 善子	大滝 美和子	可美	美和子	保史	和彦	河辺 雄一
(27回生)	(27回生)	(27回生)	(27回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
石川 善子	大滝 美和子	可美	美和子	保史	和彦	河辺 雄一
(27回生)	(27回生)	(27回生)	(27回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
奥川 直子	石川 圭子	善圭	澄子	保史	和彦	河辺 雄一
(25回生)	(27回生)	(28回生)	(20回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
丹波 善子	大滝 美和子	可美	美和子	保史	和彦	河辺 雄一
(27回生)	(27回生)	(27回生)	(27回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
石川 善子	大滝 美和子	可美	美和子	保史	和彦	河辺 雄一
(27回生)	(27回生)	(27回生)	(27回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
奥川 直子	石川 圭子	善圭	澄子	保史	和彦	河辺 雄一
(25回生)	(27回生)	(28回生)	(20回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
丹波 善子	大滝 美和子	可美	美和子	保史	和彦	河辺 雄一
(27回生)	(27回生)	(27回生)	(27回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)
石川 善子	大滝 美和子	可美	美和子	保史	和彦	河辺 雄一
(27回生)	(27回生)	(27回生)	(27回生)	(19回生)	(25回生)	(26回生)

## 各支部連絡先

- ◆関東支部長 山本 宏平 TEL 043-211-6031
- ◆関西支部長 増井 清 TEL 0721-25-8448
- ◆新潟支部長 飯沼 和男 TEL 025-233-7518
- ◆新発田支部長 大滝 昇 TEL 0254-22-2833
- ◆関川支部長 伊藤 保史 TEL 0254-64-1010
- ◆仙台支部長 本間 弘信 TEL 022-277-7654
- ◆群馬支部長 石栗 秀明 TEL 027-327-7104
- ◆中京支部事務局 岡田 康子 TEL 0565-42-4220

# 村高の現況と進路情報

## 村上高校の現況



教頭 鈴木 正之

国・県補助金をいただき地域探究学習「イヨボヤプラン」が今年度で3年目を迎えました。本プランの基礎理念は地域(村上)を知り世界を知るため、大学等から外部講師を招聘し調査研究の仕方を取り、生徒が自ら企業へアポイントを取り、調査後の礼状作成・送付の仕方等で学習するものである。将来の大学でのゼミナール形式を先取った形の学習を経験しています。本プランで生徒たちは、自らの意思を外部に表明・発信する訓練をグループ学習やレポートまとめ等から経験しています。一学年から、これらを積み重ね、学んだ手法や能力は新しい大入学入試制度で求められている「探究学習」的な分析方法であり、何事にも実直に取り組む村高生に、積極的な意思表明を行う発言力・発信力が身に付く「イヨボヤプラン」学習が非常に有効的な体系学習となっている。

令和2年3月に155名の卒業生が同窓会に入会させていただきました。令和元年度の卒業式は例年と違い新型コロナウイルス感染症対策を取りながらとなりました。4月には146名の入学生を迎えました。今年度から一学級減の4クラス募集となりましたが、現在は昨年度より一名多い455名の村高生がそれぞれの目標を持ち「新しい生活様式」を基に学校生活を送っています。同窓の皆様におかれましては、生徒の学校活動における各種支援を賜り感謝申し上げます。教職員は生徒が主体的な学習活動ができるように指導いたしますので同窓の皆様も一層の御理解と御支援を引き続きお願い申し上げます。次に進路状況と部活動について報告します。

## 進路状況

卒業生155名のうち、大学89名、短大17名で大学等進学率は約68%です。昨年度が66%でしたので、数値は上昇しましたが、東京都私立大学の入学定員厳格化等もあり、難関大学進学は厳しい結果となりました。その中でも、日ごろの学力

の成果を夢の実現に繋げた生徒も多くいたことを付け加えます。就職では公務員合格者もでていきます。

## 大学等合格状況

- ◆国公立大学 20名◆
  - 新潟大学 (5)・新潟県立大学 (2)
  - 上越教育大学 (2)
  - 長岡科学技術大学 (1)
  - 秋田大学 (1)・福島大学 (1)
  - 山形大学 (2)
  - 山形県立米沢栄養大学 (1)
  - 富山大学 (1)・信州大学 (1)
  - 群馬県立女子大学 (1)
  - 山梨県立大学 (1)
  - 福井県立大学 (1)
- ◆私立大学 164名◆
  - 早稲田大学 (2)・上智大学 (1)
  - 明治大学 (2)・青山学院大学 (2)
  - 法政大学 (1)・立教大学 (1)
  - 日本大学 (4)・東洋大学 (5)
  - 駒澤大学 (2)・専修大学 (4)
  - 東海大学 (14)・東京理科大学 (1)
  - 工学院大学 (1)
  - 新潟医療福祉大学 (12) 他
- ◆短期大学 22名◆
  - 山形県立米沢短期大学 (4)
  - 会津大学短期大学部 (1)

## 主な大会結果

- 新潟青陵大学短期大学部 (12)
- 新潟中央短期大学 (2)
- 新潟歯科大短期大学 (1) 他
- ◆専門学校 37名◆
  - 北里大学保健衛生専門学校 (1)
  - 新発田病院附属看護学校 (1)
  - 長岡赤十字看護専門学校 (1) 他
- ◆就職 7名◆
  - 公務員 (1)・民間企業 (6)

令和元年度8月以降の大会報告をします。

- ◎ソフトテニス女子
  - 北信越選抜インドア大会
  - 女子ダブルス2位
  - 伊藤 明日香・日野 ルル 組
- ◎少林寺拳法男子単独演武
  - 北信越大会優勝
  - 安藤 彰斗











令和1年度村上高等学校同窓会決算書(見込み)

令和2年度村上高等学校同窓会収支予算書(案)

Table with columns: 収入の部, 支出の部, 科目, 予算額, 決算額, 比較, 内訳. Includes sub-tables for 収支差引 and 令和1年度まで積立金.

Table with columns: 収入の部, 支出の部, 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減, 内訳.

Table listing members with columns: 全日制, 併中2, 旧制中学, 姓名, 学年/分校区.

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(事務局にお知らせいただいた方が主です。)

物故会員名

事務局からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、十月二十四日に予定しておりました総会・懇親会が中止となりました。

村上高等学校同窓会会則

第十三条 理事会は、緊急事項があれば総会に代わって議決することができる。

編集後記

令和2年、年明けから令和が始まる最初の年。そして東京2020。その記念すべき年がこんな事態になるうとは誰が想像できたでしょうか。

今号には校章や校旗、校歌について載せてあります。校歌にまつわるお話も寄稿していただきました。この機会に我が母校の歴史に想いを馳せていただければと思います。

編集委員

- 小田兼人・矢部常男・佐藤さよ子 圓山文堯・奥村直子・平山澄枝 渡辺滋子